

報道関係各位

令和6年7月3日
国立大学法人弘前大学五戸川に設置された魚道を遡上する生き物たちを調べました
～天然アユが遡る川の再生～

【本件の概要】

青森県では、自然環境豊かな地域にふさわしい青森県の川づくりを進めるべく、「多自然川づくり」をキーワードにした新たな川づくりプロジェクトとして、「A!River II プロジェクト」を推進しています。弘前大学は、本プロジェクトのアドバイザーとして参画し、実際の設計・施工において協働しています。

この度、本プロジェクトの第一弾として令和5年8月に設置された五戸川の魚道（切谷内落差工・佐野落差工）を対象に、矢田谷助教の研究グループが調査を実施しました。

この結果、アユをはじめとする生き物たちの遡上が確認され、川の連続性が確保されていることが明らかになりました。



写真：佐野落差工

【取材に関するお問い合わせ先】

（所属）	弘前大学農学生命科学部
（役職・氏名）	助教・矢田谷 健一（やたや けんいち）
（電話・FAX）	0172-39-3843
（E-mail）	yataya@hirosaki-u.ac.jp



【調査結果の概要】

- ・青森県から特別採捕許可を得た上で、令和6年6月19日から27日にかけて、断続的に魚道上流端に採捕網を設置しました。そして、遡上してくる生き物たちを捕まえて、種類と数を調べました。
- ・下表の調査結果一覧に加えて、採捕網の試験設置時に採捕されたカジカ 1 個体を含めると、計 8 種 150 個体の遡上が確認されました。
- ・この度の調査によって、海から遡上してくるアユ等の生き物の通り道が確保できていることが明らかになりました。河川の連続性が確保されたことにより、天然アユの個体数増大や分布域拡大に加え、地域の皆様が取り組んでおられるサクラマス等の放流活動等の効果が、より一層発現しやすい環境になったものと考えられます。

表：調査結果一覧表

種類	切谷内落差工				佐野落差工			合計
	6/20*	6/26*	6/27**	小計	6/19*	6/25*	小計	
アブラハヤ	23	7	1	31	3	62	65	96
アメマス				0		1	1	1
アユ		13	2	15		26	26	41
ドジョウ	1			1	1	3	4	5
モツゴ		1		1		1	1	2
ヤマメ				0	1	1	2	2
モクズガニ		1		1		1	1	2
合計	24	22	3	49	5	95	100	149

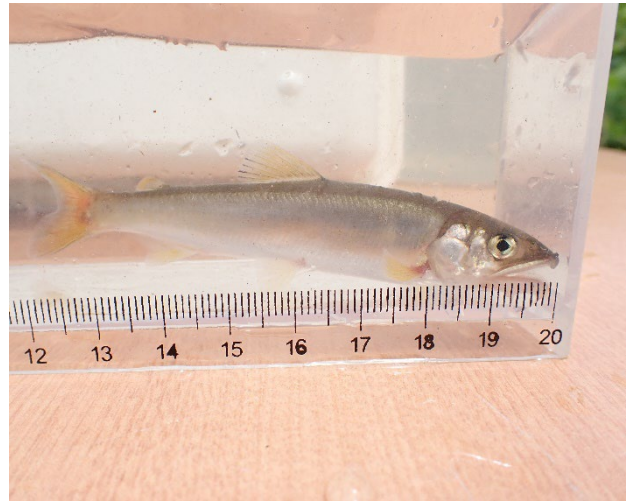
採捕時間 *10:00～16:00 (6時間)

**前日16:00～9:00 (17時間)



HIROSAKI
UNIVERSITY

プレス発表資料 PRESS RELEASE



写真：調査状況と採捕個体の例

謝辞

本調査にご協力いただきました青森県三八地域県民局地域整備部河川砂防施設課様と疑似餌クラブ「ラフィング」の皆様に深く感謝申し上げます。